

『アウトサイダー・アート』は、72年にアール・ブリュットの英語訳として考案された。英語圏を中心に広く普及しているが、「何のアウトサイドか？」という疑問がつきまとう曖昧さや、つくり手の社会的疎外を強調しかねないという政治的配慮から、近年は敬遠されている。アール・ブリュットやアウトサイダー・アートをめぐる世界共通の難問は、つくり手が社会的弱者であることが多いこの分野において、ヒューマニズムと切り離して芸術的質を問うことができるか、ということであろう。」

「…20世紀シカゴの画家、ヘンリー・ダーガーへの関心は高い。興味深いのは、彼がアール・ブリュットの代表的作家であると同時に、作品の複雑な内容が、アール・ブリュットの垣根を取り払い、コンテンポラリーアートとして受容されている点である。」

■ 教育的視点

大学／大学院教育の中で、「芸術と福祉」を橋渡しできる人材をいかにして育てるのか。日本には五芸大と呼ばれる国公立の美術・芸術系大学があります（東京藝術大学・愛知県立芸術大学・金沢美術工芸大学・京都市立芸術大学・沖縄県立芸術大学）。この五芸大の中に社会福祉法人の事業所を設置することはできないかと考えています。現在、インカブは金沢美術工芸大学（以下：金沢美大）と地域連携協定を締結し、学生をインターシップとして招聘しています。学生たちはインカブを訪れ、アーティストたちが制作する姿から多くのことを学びます。また、インカブの障がいのあるアーティストが、金沢美大の非常勤講師として授業を行っています。言葉による講義ではなく、アーティストが一心に作品を制作する姿を学生にみってもらうという講義スタイルです。学生たちはその姿に真のオリジナルを感じ、自身が忘れかけていた芸術への情熱や愉しさを再認識します。芸術を学ぶ学生だからこそ、彼らの作品の創造性の高さを認め、触発されるのです。一方、アーティストがおかれている社会的現状（生活保障・就労・障がい・疾病など）を見た学生は、アーティストに対して何ができるのかということを自問します。福祉系大学や専門学校で福祉のみを学んだ学生は、彼らの作品の芸術性に気づくことは難しく、結果としてその作品は破棄され、長く残ることは稀です。また、お世話をする人・される人という上下関係をもって彼らに接するのではなく、障がいのある人が本来持つ能力を活かすような支援をするということが大切です。芸術的な才能をもつ障がいがある人のそばには、その才能と芸術性を理解しながら、彼らの生活や将来を考え寄り添うことができる人材が必要です。五芸大の中に社会福祉法人の事業所を設置し、志のあるスタッフが運営すれば、将来的には学生が次代を担うスタッフとしてその事業所に就職することもできます。その地域ごとに障がいのある人の拠り所となり、独立へ向けた作品制作をサポートされる場所になることでしょう。国公立大学／大学院と社会福祉法人がお互いの持つ力を発揮しながら事業を運営することは、文部科学省と厚生労働省が協力体制をとるという点でも非常に意義が大きいと言えます。

■ 福祉的観点

インカブは社会福祉法人（*）という基盤によって成り立っている故、芸術的な才能をもつ障がいがある人の精神的、経済的な独立を考えることが私たちの責務です。現在、大阪府の授産施設・作業所の平均工賃は8,000円／月程度と、全国平均より低い値です。多くの授産施設・作業所で行われている単純作業や清掃作業

などいわゆる一般就労は、芸術的才能をもつ障がいのある人にはそぐわないケースが少なくありません。一定の雇用関係によらず時間に束縛されないで、自らがもつ特技・才能に基づき営む「専門的就労」こそが、彼らがアーティストとして独立していく道であると考えます。彼らが生活するための収入を得るには市場との結びつきを欠くことはできません。「障がい者アート」や「アウトサイダー・アート」には、熱心なファンがいる一方で、国内外のギャラリーやキュレーターからは「障がい者アート」や「アウトサイダー・アート」と既にラベリングされていることに対して嫌悪感を抱かれることも少なくなく、その結果、市場は非常に小さなものになっています。

例えば、毎年ニューヨークで開催されているアウトサイダー・アート・フェアは3日間の会期に約8,500人が来場し、約40のギャラリーが出展しますが、同じアメリカで開催される、現代美術を扱うアート・パーゼル・マイアミ・ビーチでは5日間の会期中に来場者数55,000人、全世界から300を超えるギャラリーが集結するなど桁違いの規模を誇っています。彼らの作品と穏やかな生活を守ることを大前提にしながら、現代美術という大きな市場で発信されることによって、アーティストとして独立することに繋がるでしょう。

また、「アウトサイダー・アート」とラベリングすることは、ユニバーサル社会を目指す日本の動きに逆行しています。ラベリングされた世界の中だけで彼らの作品をとらえるのではなく、広く現代美術としてその芸術性を評価してこそ、本当の意味でのユニバーサル社会に繋がるのではないのでしょうか。

(*)社会福祉法人とは、社会福祉法人とは社会福祉事業を行うことを目的として社会福祉法の規定により設立された法人。厚生労働大臣の認可を受け、設立の登記をすることによって成立する。公共性が極めて高く、営利を目的としない民間の法人。

【社会福祉法人 素王会 アトリエ インカーブ】

住 所：〒547-0023 大阪府大阪市平野区瓜破南1-1-18

連 絡 先：06-6707-0165

ホームページ：http://incurve.jp